

令和元年度教育研究活動報告書

氏名	高間 沙織	所属	経済情報学部経済情報学科
学位	博士（社会学）	職位	講師
専門分野	社会保障・社会政策		

I 教育活動

本年度担当科目	
	授業科目
学部	社会政策、社会保障、社会保障入門、基礎演習、専門演習Ⅰ、専門演習Ⅱ
大学院	社会保障特論

II 研究活動

現在の研究テーマ（3つまで）

- (1) 戦後日本における医療供給と福祉供給の関係性に関する歴史社会学的研究
- (2) 尾道市医師会方式における地域医師会の機能に関する歴史社会学的研究

本年度を含む過去3年間の研究業績 R1・H30・H29

R1 <書評> 高間沙織（2020）「書評 住民とともに歩んだ医療—京都・堀川病院の実践から」『保健医療社会学論集』第30巻第2号、pp.101-102  
 <学会発表> Saori Takama, “The Importance of History in Understanding Local Conditions for the Implementation of Community-based Integrated Care”, 2nd Asia Pacific Conference on Integrated Care, Melbourne Convention and Exhibition Centre, November 2019、査読あり  
 <論文> 高間沙織（2019）「地域医師会事業の発展条件に関する一考察 尾道市医師会方式を事例として」『地域ケアリング』第21巻第6号、pp.40-48<学会発表> 猪飼周平、後藤基行、高間沙織、赤木佳寿子、原田玄機（2019）「ヘルスケア政策・社会福祉政策における政策史研究の射程」日本保健医療社会学会第45回大会ラウンドテーブルディスカッション、東京、査読あり

H30 <編著> 高間沙織（2019）「戦後日本における病院の福祉施設的使用」猪飼周平編『羅針盤としての政策史』勁草書房、pp.73-132  
 <学会発表> Saori Takama, “The Role of Local Medical Associations in Community-based Care”, The 15th East Asian Social Policy Network Annual Conference on Social Policy in Post-Growth East Asia, University of Bristol, UK, July 2018、査読あり

H29 <論文> 高間沙織（2018）「地域連携における医師会自治の機能 尾道市医師会方式を事例として」『地域ケアリング』第20巻第3号、pp.98-102  
 <書評> 高間沙織（2018）「書評 しかし、誰が、どのように分配してきたのか 同和政策・地域有力者・都市大阪」『保健医療社会学論集』第28巻、pp.89-90  
 <編著> 高間沙織（2017）「戦後日本における病床供給の構造」公益信託松尾金蔵記念奨学基金編『明日へ翔ぶ—人文社会学の新視点—4』風間書房、pp.241-264

H28以前の主な研究業績

- (1) <学会発表> Saori Takama, “Role of Medical Practitioners in Integrated Community Care Systems: Onomichi Case Study”, UK-Japan Seminar on the Politics and Practices of ‘Low Fertility and Ageing Population’ in Post-War Japan, University of Manchester, UK, November 2016
- (2) <学会発表> Saori Takama, “Conditions for Establishing an Integrated Community Care System: Onomichi Case Study”, Keio Young Scholars’ Workshop on the History of Medicine, Disease, and the Body 2016, Keio University, Tokyo, September 2016
- (3) <論文> 高間沙織（2015）「戦後日本における病床偏重の高齢者処遇—コミュニティケア発展の困難の観点から—」一橋大学博士学位取得論文、pp.1-207、2015年11月
- (4) <論文> 高間沙織（2015）「地域包括ケアシステムの存続と自治の機能 岩手県一関市国保藤沢病院を事例として」『大原社会問題研究所雑誌』No.675、pp.53-71、査読あり

学会、所属団体における活動（本年度を含む過去3年間の研究業績） H29・H30・R1

所属学会・所属団体 役職等と任期  
 社会政策学会・日本保健医療社会学会・関東社会学会

IV 社会活動

2. 委員会及び協議会委員（本年度1年間の活動状況）

	委員会等の名称	委員長・委員等の別	出席回数（回）
(1) 尾道市関係			
(2) 尾道市以外	厚生労働省推進事業 居住支援の在り方に関する調査研究事業 検討委員会	委員	6回